

生きがい

第 21 号

公益社団法人

栃木市シルバー人材センター

広報女性委員会

令和2年9月15日発行

マスクの検品作業



マスクの袋詰め作業



「コロナ禍の時代に合わせた就業を」

理事 藤田正人（市保健福祉部長）

兼新型コロナウイルス感染症対策室長

栃木市シルバー人材センターの理事となり、早4年目を迎えました。この間、理事の一員として理事会、総会等に出席させていただき、野尻理事長を始め役員の皆様の安全就業に関する徹底した対応や、日頃の会員の皆様の地道な就業努力の結果、行政委託の就業件数、金額とも年々着実に伸ばすことができているものと感じているところです。

さて、新型コロナウイルス感染症については、国の緊急事態宣言が解除され、2か月余りが経過し社会全体が動き始めたところ、第2波と思われる事態に至っている状況にあります。

シルバーの会員として感染症防止のため出来ることは、何といたっても「3密」を避けることです。併せて、感染防止に有効な「こまめな手洗い」「マスクの着用」「うがいの励行」等を実行し、就業を複数人で行う場合は、こまめな休憩や昼食時にソーシャル・ディスタンス（2m程度の距離を取ること）を心掛けることです。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用による熱中症の発症に重要な注意が必要です。高齢者は、発汗など体から熱を逃がす機能も低下しますので、暑いときは無理をせず、こまめに水分や塩分を補給し、熱中症予防を心掛け元気に就業してください。

事務局だより

令和2年度定時総会

6月18日(木) 栃木市保健福祉センター大会議室で定時総会が開催され、当日の会員総数796名のうち、出席会員数586名(出席49名、委任と議決権行使537名)で総会が成立し、来賓として大川市長、小堀議長及び藤田保健福祉部長、茅原地域包括ケア推進課長の出席を賜りました。

初めに理事長挨拶の後、来賓祝辞を頂き38名の10年表彰、15名の15年表彰、2名の役員表彰により功労を称えました。

続いて、議長に前田氏が選出され、北原監事より監査報告、令和元年度補正予算及び事業報告、令和2年度事業計画及び予算の報告が行われました。

次に、令和元年度決算報告、役員の選任、理事長に対する権限委任の件について議案が上程され、審議・採決の結果全議案とも原案通り可決されました。



10年・15年・役員表彰された皆様、おめでとうございます。



前田様お疲れ様でした。



野尻理事長

センターへの
支援継続を要望

8月6日、野尻理事長、大島副理事長、高崎事務局長が市役所を訪問し、市長と市議会に対して要望活動を行いました。

センターは、毎年市から1億円を上回る仕事を受託するとともに円滑な運営のための補助を受けており、これらを合わせると事業総額の3割近くを占めています。

今回は特に①公共事業の発注拡大、②適正な業務委託、③補助金の確保を要望しました。

要望書を受け取った大川市長からは、「コロナ禍におけるシルバー会員の市民生活への貢献に感謝している。協力関係を維持し、できる限りの支援をしていきたい。」との話がありました。

また、小堀議長、梅澤副議長からは、「シルバーの活動はこれから益々必要とされる分野であり、特に女性会員の活躍を期待したい。」との話がありました。

今後も、このような機会を捉え、会員の皆さんの声を届けてまいります。



小堀議長、梅澤副議長へ



大川市長へ



マスク越しに
笑顔を見た

事務局長 高崎尚之

会員の皆さん、こんにちは。4月1日付で当センター事務局長に就任いたしました高崎です。どうぞよろしくお願ひします。

新任早々、コロナ禍の対応では、ご不便を強いていることを心苦しく思っています。そのよ
うな中、皆さんは市民生活に密着した仕事や社
会が必要とされる仕事を積極的に果たしてくだ
さっています。

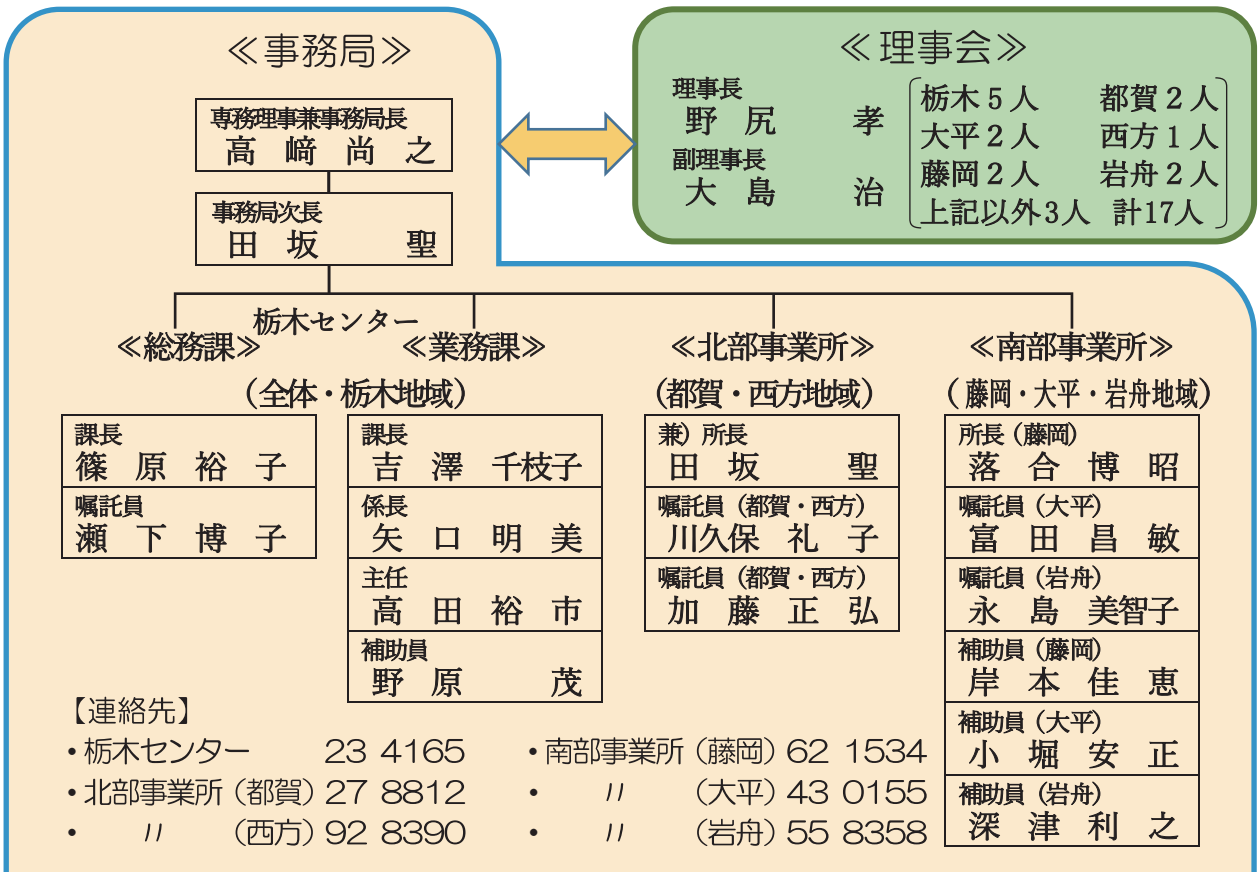
マスク越しに作業をする皆さんの笑顔が見え
た時、それは私にとって誇らしくもあり、事務
局としての責任の重さを痛感する瞬間でした。

当センターの解決すべき課題は少なくありま
せん。しかし今、優先されるべきは一人ひとりが
感染症防止に努めること、そして事故を未然
に防ぐための安全対策です。

地域班を中心に企画される楽しい行事は中止
や延期を余儀なくされ、実施が困難な業務もあ
り、ストレスの溜まる日々です。

暗く辛い夜は長く感じますが、まぶしく輝く
朝は必ず来ます。今は私たちにできることを精
一杯やって、この困難を一丸となって乗り切り
たいと思います。今こそ我々の持つシルバーパ
ワーを発揮しましょう!!

栃木市シルバー人材センター組織構成 (令和2年8月末現在)



この度、4月から南部事業所長に就任いたしました落合です。会員の皆さんは、各地域の事業者の活動や住民の生活に密着したサービスを提供されておりまして、地域にとって欠かせない役割を果たしております。これからも、会員の皆さんが、元気に安心して仕事を続けることができるよう努めて参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

★今後の行事予定

- ◆6地域班合同事業
・グラウンドゴルフ大会
11月6日(金) 9時〜
スパーク栃木屋屋内運動場
- ◆安全パトロール
9月全地区実施予定
- ◆各地域でのボランティア活動
11月頃より実施予定

★栃木センター(本部)移転について

6月23日より、キョクトウとちぎ蔵の街楽習館(栃木市市民交流センター)一階西側の3部屋を使用しています。自由に使えるスペースもありますので、一度見学に来てみてください。

作業室は全面ガラスでとても明るく、4台の作業台があり、表の水道も完備されているので表具作業がスムーズです。他の地区で作業場が空いていない時は、お問い合わせ頂き積極的に活用していただきたいと思えます。



事務室・書庫・作業室



事務室はコロナ対策をし、会員さん対応。



先の見えない自粛生活で気持ちが落ちていると思いますが、免疫力アップのためにも前向きに仕事をしましょう!

「うがい・手洗い・マスク着用」当たり前のことですが大切です。

会員の募集について!

新規会員さんをご紹介頂いた方には、粗品を進呈しています!!
詳細は職員へお尋ねください。



【市民交流センターでの施設管理業務】

「人生100年。
まだまだこれから。」

工藤 明 (栃木)

長年勤めた会社を定年退職し、これからについてゆっくり考える時間がありました。自分の中には、まだ働きたいな、また新しい何かにチャレンジしたいな、そんな気持ちがあることに気づき、知人に話を聞いていたシルバー人材に登録をしました。

紹介していただいた現在の仕事は、市民交流センターでの施設管理の仕事です。今までの仕事とは全く違い、はじめは少し不安もありました。しかしそれ以上に、また新しい仕事を始められることに嬉しさを感じると共に、新たに仕事を覚えるたびに脳トレをしているような楽しい充実感を得ています。

しかし、今はコロナ禍という経験したことのない危機の中にありますので、仕事でも「新しい生活様式」を心掛けながら感染予防に取り組んでいきたいと考えています。施設を利用する方が安心できる環境を整え、より多くの方に有効活用していただきたいです。これからは人生100年時代。まだまだこれから！がんばろう！

★「コロナ禍」の由来⇒「禍」という漢字には、
【良くないこと、悪いこと、災い、不幸せ】の意味があり、
コロナ禍という言葉の由来になっています。

R・S (栃木)

新型コロナウイルス感染拡大が連日のように報道されている。今までに経験したことのないような大きな社会問題になっているが、日常生活は言うまでもなく、企業の生産活動にも影響が広がっている。

飲食店等も再度の休業要請や営業時間の短縮を余儀なくされ、苦難の状況が続いている。

国は発症当初、この問題を早急に収束させて経済のV字回復を目指すと言明していたが、現状はとてもそのような情勢ではない。

感染拡大防止と経済の回復という二兎を追うことは容易な「業」ではないと論じる識者もいるが、何にもまして国民の尊い生命を堅持し、あらゆる手段を講じることは勿論のことである。

私達も感染拡大防止に自覚と責任を持ち、一日も早くこの状況から脱却し、安心安全な生活を取り戻すために一層の努力が求められるのではないかな。



「今年も豊作」 本田 春男 (大平)

私は定年退職してから始めた家庭菜園が今年で7年目となりました。毎年春夏秋野菜を作っていますがこの時期はキュウリ、ナス、オクラ、ゴーヤ、トマト等々が中心です。しかし今年の梅雨は長く、日照時間が短いため野菜の成長を心配しましたが添付した写真のようにほぼ順調に育ちましたがトマトは例年より赤みが弱い気がします。私が特にこだわっているのはキュウリです。例年キュウリは福島の実家から苗を取り寄せて質の良いキュウリを育てていましたが今年は残念ながらコロナの影響で実現しませんでした。

このように、収穫した野菜は栃木市広報の仕分け作業を一緒に行っている仲間の皆さんにお裾分けし、皆さんに喜んでいただけるのが私の最高の喜びです。

「ひとり見守り隊」 猪熊 幸次 (岩舟)

今日もまた朝6時30分の目覚まし時計の音色で、床を離れる。

7時過ぎに地域の小学生と歩を進める。

「ひとり見守り隊」の始まりは、一年前に長年のサラリーマン生活に終止符を打ち、時間に余裕を持つことができたこと、また、小学生の孫2人が低学年のため下校時の出迎えをしたことがきっかけです。

今では日課となり、地域の小学生、11名と共に、安全・安心の通学ができるように微力ながら活動しています。

私の小学生の頃と比べると、子供たちの人数が激減しています。少子化の問題は一朝一夕では解決できない大きな問題ですが、以前のようにたくさんの子供たちがいる笑いの絶えない地域になることを願っています。

健やかに成長することを願いつつ、毎日元気な子供たちに接することができ私も元気づけられています。

今日もまた「ひとり見守り隊」 ……『いってらっしゃい』そして『おかえり』





「ボタニカル水彩画に出会って」

島田 よし子 (栃木)

出会いは、食事に入ったお店に飾られていた「絵」に魅せられてから、ボタニカル水彩画を習い始めて、かれこれ10年になります。家の周りにある何気ない植物や果物、その物の生態(どんな風にどんな所に育ち種はどうなっているの等)を調べながら特殊な用紙に描きます。

コロナ禍で展示会等の機会は少なくなっていますが、教室でのひと時は今の私に欠かせない時間です。

そして先生が、その年に良かった作品をポストカードにしてくれ、友人達へと筆をとっています。

「神さま仏さま」 神山 益子 (栃木)

神社では拍手をうちます。邪気をはらい、願いを叶えるため神を呼び出す。

相手に敬意をはらう意味があります。

お寺では合掌。

右手が仏さま、左手が俗世で生きる人間。右手と左手を合わせることで、仏さまと人間が1つにつながっている。どちらも感謝や敬意が込められています。神様であれ、仏さまであれ、自分を見守ってくれることへの感謝を忘れてはいけませんね“合掌“



男性会員 (藤岡)

この絵は廃船を描いた様に思われてしまいましたが、まだ現役の船です。

水の中に沈める事によって、木が腐食するのを遅らせているのです。

広報女性委員会より

20号にて、5月にケーブルTV「1分間PR」を放映予定でしたが、コロナ禍で残念ですが中止となりました。この苦境が早く良くなって活動できることを祈るだけです。

会員の皆様からのR3年2月発行「生きがい122号」への投稿をお待ちしております。写真、絵画、挿絵、短歌・俳句、紀行文、なんでも結構です。情報交流の場に！！



統計速報

令和2年度事業実績(令和2年4月～令和2年7月)

(金額単位:円)

区 分	受託 件数	就業人員		契 約 金 額				
		実人員	延日人員	配分金	材料費等他	事務費	計	
公共事業	575	/	7,961	35,003,348	3,363,360	3,484,686	41,851,394	
民間事業	企業等		988	15,002	64,923,396	4,010,258	6,460,430	75,394,084
	家庭		2,183	7,060	33,113,680	7,635,861	3,311,551	44,061,092
	独自事業		5	18	109,500	24,200	2,980	136,680
	小 計		3,176	22,080	98,146,576	11,670,319	9,774,961	119,591,856
合 計	3,751	709	30,041	133,149,924	15,033,679	13,259,647	161,443,250	
前年同月実績	4,093	732	34,552	151,172,158	15,792,082	15,077,803	182,042,043	
増 減	-342	-23	-4,511	-18,022,234	-758,403	-1,818,156	-20,598,793	
増減率	-8.4%	-3.1%	-13.1%	-11.9%	-4.8%	-12.1%	-11.3%	
公共事業増減率	-4.6%	/	-12.2%	-9.5%	-1.8%	-9.6%	-8.9%	
民間事業増減率	-9.0%		-13.4%	-12.8%	-5.6%	-12.9%	-12.1%	

※コロナ禍の影響で、全地域の施設管理、イベント等が中止になり大幅な収益減となった。

事故速報

(当年) 令和2年4月～令和2年7月						
分類	件数	事故の程度			性別	
		入院	通院	死亡	男性	女性
傷害	5	0	5	0	5	0
賠償	10	/	/	/	10	0
計	15	0	5	0	15	0
(前年) 平成31年4月～令和元年7月						
分類	件数	事故の程度			性別	
		入院	通院	死亡	男性	女性
傷害	19	1	18	0	17	2
賠償	12	/	/	/	12	0
計	31	1	18	0	29	2

地区別会員数

地区	男	女	計
栃木	194	79	273
藤岡	101	28	129
都賀	88	45	133
大平	92	22	114
西方	29	17	46
岩舟	83	25	108
合計	587	216	803

令和2年7月末現在



西方

令和2年7月実施の安全就業
パトロールの様子



大平



都賀